



## 2021年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月6日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ナガオカ  
 コード番号 6239 URL <http://www.nagaokajapan.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅津 泰久  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 楯本 智也 TEL 06(6261)6600  
 定時株主総会開催予定日 2021年9月28日 配当支払開始予定日 2021年9月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年9月28日  
 決算補足説明資料作成の有無: 有  
 決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年6月期の連結業績 (2020年7月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期	6,263	△2.7	809	△24.8	937	△10.4	677	△3.7
2020年6月期	6,436	46.9	1,076	117.5	1,045	149.7	703	93.9

(注) 包括利益 2021年6月期 915百万円 (45.4%) 2020年6月期 629百万円 (126.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年6月期	96.72	—	19.4	14.6	12.9
2020年6月期	101.51	—	25.7	18.9	16.7

(注) 当社は、2020年2月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期	6,501	3,968	61.0	562.94
2020年6月期	6,345	3,031	47.8	437.56

(参考) 自己資本 2021年6月期 3,968百万円 2020年6月期 3,031百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年6月期	1,693	△317	△792	1,584
2020年6月期	5	△375	300	978

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00	69	9.9	2.5
2021年6月期	—	0.00	—	15.00	15.00	105	15.5	3.0
2022年6月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00		19.9	

### 3. 2022年6月期の連結業績予想 (2021年7月1日～2022年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	15.0	933	15.3	1,010	7.8	710	4.7	100.72

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期	7,078,400株	2020年6月期	7,078,400株
② 期末自己株式数	2021年6月期	29,199株	2020年6月期	149,160株
③ 期中平均株式数	2021年6月期	7,009,119株	2020年6月期	6,931,759株

(注) 当社は、2020年2月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期中平均株式数」を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

2021年6月期の個別業績（2020年7月1日～2021年6月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期	4,377	△16.4	634	26.6	947	14.0	762	20.6
2020年6月期	5,236	102.2	500	—	831	—	631	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期	108.75	—
2020年6月期	91.17	—

(注) 当社は、2020年2月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期	4,606	3,172	68.9	450.07
2020年6月期	5,133	2,331	45.4	336.42

(参考) 自己資本 2021年6月期 3,172百万円 2020年6月期 2,331百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、緊急事態宣言が度重なって発出されるなど、経済活動が大きく制限される厳しい状況で推移しました。国内外において、ワクチン接種が進むことで経済活動・社会活動の正常化へ期待が高まる一方、ワクチン普及の遅れや変異株による感染拡大が懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によって、企業の設備投資意欲の減退や経済活動の制約により厳しい状況となっております。

このような状況の下、水関連事業では、国内を中心に案件の掘り起こし、具現化に注力しております。また、工場稼働準備を進めていたNAGAOKA VIETNAM CO., LTD. では本稼働に向け製造技術の習得・向上に努めてきた結果、実案件の製造をスタートさせるまでに至りました。今後は、ベトナム国内における営業活動を進めてまいります。エネルギー関連事業では、新規プラント設備への投資が回復している中国において営業活動を積極的に行った結果、複数の大型案件の受注を獲得することができました。また、従来では受注に消極的であった製品群についても原価低減の検討を進め、受注獲得を目指しております。

以上の結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は6,263,111千円（前期比2.7%減）、営業利益は809,536千円（前期比24.8%減）、経常利益は937,091千円（前期比10.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は677,949千円（前期比3.7%減）となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりです。

#### ① 水関連事業

水関連事業では、取水設備向けの販売は、営業面で新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものの、需要は底堅く、販売実績は堅調に推移しました。また、ケミレスを中心とする水処理装置については、海外での営業活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により日本から現地へ赴くことができない状況下、ベトナムでは子会社であるNAGAOKA VIETNAM CO., LTD. を拠点に、マレーシアでは現地代理店を活用して、案件の掘り起こし・具体化を進めておりますが、活動が制限されていることから厳しい状況が続いております。一方、国内では、営業面で新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものの、案件の掘り起こしや具現化に注力してきた結果、受注に至った案件もあり、堅調に推移しました。これらの結果、売上高969,103千円（前年同期比15.0%増）、セグメント利益73,511千円（前期はセグメント損失95,340千円）となりました。

#### ② エネルギー関連事業

エネルギー関連事業では、新型コロナウイルス感染症による世界経済の停滞長期化の懸念等から新規の石油精製・石油化学プラント建設に向けた動きが鈍い状況が続いております。新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進むことで経済活動・社会活動の正常化が期待されるものの、先行き不透明感が強く、欧米を中心にプラント設備投資は回復の兆しが見えておりません。一方、中国では、経済の回復とともに設備投資意欲が回復し、同国における新規プラント建設需要を中心に積極的に営業活動を行った結果、複数の大型案件の受注を獲得することができました。これらの結果、売上高5,294,008千円（前期比5.4%減）、セグメント利益1,253,140千円（前期比24.3%減）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における流動資産は4,656,911千円となり、前連結会計年度末に比べ131,815千円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が606,601千円、流動資産のその他が109,425千円増加した一方で、受取手形及び売掛金が696,473千円、原材料及び貯蔵品が191,352千円減少したことによるものです。

また、固定資産は1,844,198千円となり、前連結会計年度末に比べ287,525千円の増加となりました。これは主に、長期貸付金が200,000千円、繰延税金資産が36,671千円、無形固定資産のその他が35,707千円増加したことによるものです。

これらの結果、当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ155,710千円増加し、6,501,110千円となりました。

#### (負債)

当連結会計年度末における流動負債は1,961,283千円となり、前連結会計年度末に比べ897,662千円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が248,792千円増加した一方で、短期借入金が814,393千円、前受金が180,769千円、未払法人税等が82,550千円減少したことによるものです。

また、固定負債は571,543千円となり、前連結会計年度末に比べ117,068千円の増加となりました。これは主に、長期借入金が107,600千円増加したことによるものです。

これらの結果、当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ780,594千円減少し、2,532,827千円となりました。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産は3,968,283千円となり、前連結会計年度末に比べ936,305千円の増加となりました。これは主に、配当金の支払69,292千円があったものの、親会社株主に帰属する当期純利益677,949千円の計上により利益剰余金が608,657千円増加したこと、為替換算調整勘定が179,124千円増加したこと、自己株式が82,649千円減少（純資産は増加）したことによるものです。

#### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は1,584,985千円となり、前連結会計年度末に比べ606,601千円の増加となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの変動要因は次のとおりです。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は1,693,909千円（前連結会計年度は5,027千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益940,560千円、売上債権の減少額863,954千円及び仕入債務の増加額217,688千円の増加要因に対し、法人税等の支払額375,531千円の減少要因によるものです。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は317,580千円（前連結会計年度は375,345千円の使用）となりました。これは主に、貸付けによる支出200,000千円、有形固定資産の取得による支出81,923千円及び無形固定資産の取得による支出59,506千円の減少要因によるものです。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は792,590千円（前連結会計年度は300,072千円の収入）となりました。これは主に、長期借入れによる収入200,000千円の増加要因に対し、短期借入金の純減少額887,372千円及び配当金の支払額69,147千円の減少要因によるものです。

#### (4) 今後の見通し

水関連事業は、取水設備向けの国内販売は堅調に推移すると見込んでいます。海外での水処理装置の販売は、新型コロナウイルス感染症の影響により、現地に赴いての営業活動が制限される状況が続くと見込まれますが、国内では、引き合い案件の具現化と新規案件の掘り起こしに注力し、受注の拡大を図ります。

エネルギー関連事業は、2021年に入り受注した大口案件の製造を進めることで、次期の売上・利益に寄与すると見込んでいます。また、石油精製・石油化学プラントへの設備投資計画の動向を見極め、新たな受注の獲得に向けて、積極的に営業活動を行ってまいります。

これらの結果、2022年6月期の業績は次のとおりとなる見通しです。

売上高	: 7,200百万円（前期比 15.0%増）
営業利益	: 933百万円（前期比 15.3%増）
経常利益	: 1,010百万円（前期比 7.8%増）
親会社株主に帰属する当期純利益	: 710百万円（前期比 4.7%増）

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針です。なお、国際会計基準の適用については、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針です。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,069,612	1,676,213
受取手形及び売掛金	2,697,707	2,001,234
商品及び製品	5,915	8,649
仕掛品	165,040	198,504
原材料及び貯蔵品	560,428	369,076
その他	296,830	406,255
貸倒引当金	△6,808	△3,022
流動資産合計	4,788,726	4,656,911
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	847,096	949,072
減価償却累計額	△211,873	△281,003
建物及び構築物 (純額)	635,222	668,068
機械装置及び運搬具	720,515	750,156
減価償却累計額	△465,787	△497,089
減損損失累計額	△16,269	△16,269
機械装置及び運搬具 (純額)	238,457	236,796
工具、器具及び備品	306,870	355,950
減価償却累計額	△231,886	△275,065
減損損失累計額	△536	△536
工具、器具及び備品 (純額)	74,448	80,348
リース資産	158,938	175,982
減価償却累計額	△88,749	△115,690
リース資産 (純額)	70,188	60,292
建設仮勘定	18,303	3,801
有形固定資産合計	1,036,621	1,049,307
無形固定資産		
その他	300,567	336,274
無形固定資産合計	300,567	336,274
投資その他の資産		
関係会社出資金	110,870	110,870
長期貸付金	—	200,000
繰延税金資産	66,055	102,726
その他	42,558	45,019
投資その他の資産合計	219,484	458,616
固定資産合計	1,556,672	1,844,198
資産合計	6,345,399	6,501,110

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	412,121	660,914
短期借入金	1,329,308	514,915
1年内返済予定の長期借入金	—	63,000
リース債務	3,718	3,732
未払金	207,411	164,150
未払費用	168,428	160,809
未払法人税等	226,310	143,760
前受金	405,261	224,492
資産除去債務	—	1,828
その他	106,384	23,679
流動負債合計	2,858,946	1,961,283
固定負債		
長期借入金	100,000	207,600
リース債務	11,411	7,678
違約金負担損失引当金	204,937	230,504
退職給付に係る負債	76,198	75,863
資産除去債務	1,826	—
長期前受収益	60,101	49,897
固定負債合計	454,474	571,543
負債合計	3,313,421	2,532,827
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,253,241	1,253,241
資本剰余金	777,755	785,195
利益剰余金	1,152,176	1,760,833
自己株式	△102,755	△20,106
株主資本合計	3,080,417	3,779,164
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△64,857	△6,424
為替換算調整勘定	16,418	195,542
その他の包括利益累計額合計	△48,439	189,118
純資産合計	3,031,978	3,968,283
負債純資産合計	6,345,399	6,501,110

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
売上高	6,436,887	6,263,111
売上原価	4,080,320	4,215,076
売上総利益	2,356,566	2,048,035
販売費及び一般管理費	1,280,128	1,238,498
営業利益	1,076,437	809,536
営業外収益		
受取利息	9,733	7,397
為替差益	—	86,467
スクラップ売却益	25,258	23,374
補助金収入	14,970	15,700
その他	8,260	24,278
営業外収益合計	58,223	157,218
営業外費用		
支払利息	28,253	26,647
為替差損	60,247	—
支払手数料	212	2,921
その他	435	94
営業外費用合計	89,148	29,663
経常利益	1,045,513	937,091
特別利益		
固定資産売却益	158	3,552
特別利益合計	158	3,552
特別損失		
固定資産売却損	7	—
固定資産除却損	1,258	83
特別損失合計	1,266	83
税金等調整前当期純利益	1,044,405	940,560
法人税、住民税及び事業税	342,482	299,705
法人税等調整額	△1,713	△37,094
法人税等合計	340,768	262,611
当期純利益	703,636	677,949
親会社株主に帰属する当期純利益	703,636	677,949

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
当期純利益	703,636	677,949
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△41,886	58,433
為替換算調整勘定	△32,316	179,124
その他の包括利益合計	△74,202	237,558
包括利益	629,433	915,507
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	629,433	915,507

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,253,241	785,075	448,540	△76,226	2,410,631
当期変動額					
剰余金の配当			—		—
親会社株主に帰属する当期純利益			703,636		703,636
自己株式の取得				△77,589	△77,589
自己株式の処分		△7,320		51,060	43,740
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△7,320	703,636	△26,529	669,786
当期末残高	1,253,241	777,755	1,152,176	△102,755	3,080,417

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△22,971	48,734	25,763	2,436,394
当期変動額				
剰余金の配当				—
親会社株主に帰属する当期純利益				703,636
自己株式の取得				△77,589
自己株式の処分				43,740
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△41,886	△32,316	△74,202	△74,202
当期変動額合計	△41,886	△32,316	△74,202	595,583
当期末残高	△64,857	16,418	△48,439	3,031,978

当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,253,241	777,755	1,152,176	△102,755	3,080,417
当期変動額					
剰余金の配当			△69,292		△69,292
親会社株主に帰属する当期純利益			677,949		677,949
自己株式の取得				△30	△30
自己株式の処分		7,440		82,680	90,120
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	7,440	608,657	82,649	698,746
当期末残高	1,253,241	785,195	1,760,833	△20,106	3,779,164

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△64,857	16,418	△48,439	3,031,978
当期変動額				
剰余金の配当				△69,292
親会社株主に帰属する当期純利益				677,949
自己株式の取得				△30
自己株式の処分				90,120
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	58,433	179,124	237,558	237,558
当期変動額合計	58,433	179,124	237,558	936,305
当期末残高	△6,424	195,542	189,118	3,968,283

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,044,405	940,560
減価償却費	143,255	166,910
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,246	△3,785
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8,237	△335
受取利息及び受取配当金	△9,733	△7,397
為替差損益 (△は益)	950	375
支払利息	28,253	26,647
支払手数料	212	2,921
固定資産除却損	1,258	83
固定資産売却損益 (△は益)	△150	△3,552
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,495,252	863,954
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△143,102	194,045
仕入債務の増減額 (△は減少)	187,258	217,688
未払費用の増減額 (△は減少)	36,018	△12,282
前受金の増減額 (△は減少)	238,412	△196,883
未払金の増減額 (△は減少)	120,288	△66,554
その他	25,451	△33,419
小計	191,008	2,088,976
利息及び配当金の受取額	9,733	6,926
利息の支払額	△37,736	△26,462
法人税等の支払額	△157,977	△375,531
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,027	1,693,909
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△196,276	△81,923
無形固定資産の取得による支出	△63,025	△59,506
有形固定資産の売却による収入	—	28,679
差入保証金の差入による支出	△1,905	△4,189
差入保証金の回収による収入	1,770	52
貸付けによる支出	—	△200,000
関係会社出資金の払込による支出	△110,870	—
その他	△5,038	△692
投資活動によるキャッシュ・フロー	△375,345	△317,580
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	281,112	△887,372
長期借入れによる収入	100,000	200,000
長期借入金の返済による支出	—	△29,400
リース債務の返済による支出	△3,237	△3,718
配当金の支払額	—	△69,147
自己株式の取得による支出	△77,802	△30
その他	—	△2,921
財務活動によるキャッシュ・フロー	300,072	△792,590
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,926	22,862
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△80,171	606,601
現金及び現金同等物の期首残高	1,058,555	978,383
現金及び現金同等物の期末残高	978,383	1,584,985

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び連結子会社の各構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、取り扱う製品・サービスごとに包括的な戦略を立案し事業活動を展開しており、取り扱う製品・サービスの類似性を考慮し、「エネルギー関連事業」及び「水関連事業」の2つを報告セグメントとしています。

「エネルギー関連事業」は、主に石油精製及び石油化学プラント用内部装置「スクリーン・インターナル」の製造・販売を行っています。「水関連事業」は、主に取水用スクリーンの製造・販売並びにケミレス及びハイシスの製造・販売を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一です。また、セグメント利益は、営業利益ベースの数値です。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 4
	エネルギー関連	水関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,593,826	843,060	6,436,887	—	6,436,887
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	5,593,826	843,060	6,436,887	—	6,436,887
セグメント利益又は損失(△)	1,656,262	△95,340	1,560,921	△484,483	1,076,437
その他の項目					
減価償却費	116,870	19,838	136,708	6,546	143,255
減損損失	—	—	—	—	—

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりです。

(1) セグメント利益又は損失の調整額△484,483千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。

全社費用は、主に、各報告セグメントに帰属しない役員及び管理部門に係る人件費、経費等の一般管理費です。

(2) 減価償却費の調整額6,546千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用です。

2. セグメント資産は、事業セグメントに資産を配分していないため記載していません。ただし、配分されていない償却資産の減価償却費は、合理的な配賦基準で各事業セグメントへ配賦しています。

3. セグメント負債は、取締役会に対して定期的に提供されておらず、経営資源の配分決定及び業績評価の検討対象になっていないため記載していません。

4. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 4
	エネルギー関連	水関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,294,008	969,103	6,263,111	—	6,263,111
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	5,294,008	969,103	6,263,111	—	6,263,111
セグメント利益	1,253,140	73,511	1,326,651	△517,114	809,536
その他の項目					
減価償却費	121,702	19,363	141,065	25,844	166,910
減損損失	—	—	—	—	—

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりです。

- (1) セグメント利益の調整額△517,114千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に、各報告セグメントに帰属しない役員及び管理部門に係る人件費、経費等の一般管理費です。
- (2) 減価償却費の調整額25,844千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用です。
2. セグメント資産は、事業セグメントに資産を配分していないため記載していません。ただし、配分されていない償却資産の減価償却費は、合理的な配賦基準で各事業セグメントへ配賦しています。
3. セグメント負債は、取締役会に対して定期的に提供されておらず、経営資源の配分決定及び業績評価の検討対象になっていないため記載していません。
4. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
1株当たり純資産額	437.56円	562.94円
1株当たり当期純利益	101.51円	96.72円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 当社は、2020年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しています。
3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	703,636	677,949
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益 (千円)	703,636	677,949
普通株式の期中平均株式数 (株)	6,931,759	7,009,119

(重要な後発事象)

該当事項はありません。